

# 決算

## 決算特別委員会 審査報告

決算特別委員会は、5日間(延23時間)担当課から説明を受けたが審査を行いました。紙面の都合上要旨のみの報告となります。詳細については、村のホームページの白馬村議会から会議録をご覧ください。

### ●一般会計歳入歳出決算

#### 今後の起債額を注視

##### 総務課

**問** 手数料収入並びに諸収入が増加している理由は。

**答** 手数料については、ごみ袋販売手数料・粗大ごみ処理手数料・雑排水処理手数料の各手数料を組入れた。諸収入は国休開催のため、スポーツ振興事業助成金が増。組み換えについては当初予算から条例に従って処理。

**問** 将来負担比率が28.3%で、前年度比2.7ポイント増。今後、給食センターや図書館、観光復旧施設の建設などの事業があるが、今後の起債発行についての考えは。

**答** 3カ年の実施計画をたてて予算建てをしている。計画にあることは事実。一時的に起債額は多くなると予想される。将来の事業をシミュレーションする中で大きな負担とならないよう検討していく。今回増えた分は震災復興住宅建設が主なもの。

CHECK!  
総合計画) **さを求めて  
行状況を  
ツク**

**問** 不納欠損221件、6695万円

**答** 不納欠損の主なものと件数は。

**問** 滞納整理機構へは7件申請し、2件分、1589万円の入金。平成29年度は前年度5件を含む19件を申請中。

**問** 固定資産税滞納繰越分が主なもの130件あり、全体では222件。

**問** 今後、給食センターや図書館、観光復旧施設の建設などの事業があるが、今後の起債発行についての考えは。

**答** 3カ年の実施計画をたてて予算建てをしている。計画にあることは事実。一時的に起債額は多くなると予想される。将来の事業をシミュレーションする中で大きな負担とならないよう検討していく。今回増えた分は震災復興住宅建設が主なもの。

**問** 県地方税滞納整理機構へ委託した案件の成果と状況は。

**答** 滞納整理機構へは7件申請し、2件分、1589万円の入金。平成29年度は前年度5件を含む19件を申請中。

**問** 不納欠損の主なものと件数は。

**答** 固定資産税滞納繰越分が主なもの130件あり、全体では222件。

**問** 今後、給食センターや図書館、観光復旧施設の建設などの事業があるが、今後の起債発行についての考えは。

**答** 3カ年の実施計画をたてて予算建てをしている。計画にあることは事実。一時的に起債額は多くなると予想される。将来の事業をシミュレーションする中で大きな負担とならないよう検討していく。今回増えた分は震災復興住宅建設が主なもの。

**問** デイサービス事業は黒字。確かにパート職に頼っているところはある。今後、安定した雇用につながるよう地域包括センター等と密接に連携して今年度中に対応したい。

**問** 保健補導員の役割は終わっている。名称変更しては。

**答** 時代の変化とともに名称、役割は変わってきている。今後、地区保健補導員と相談しながら検討したい。また、現実的に何もしない地区もあり、活動助成金是不公平感がないよう対応する。

**問** マイナンバーカードの交付率は。

**答** 本年3月末の人口を分母とすれば7.2%。

**問** 広域ごみ焼却施設への持込処理量の目標値並びにリサイクル率と減量化については。

**答** 目標値は2,901t、現在のリサイクル率は21.9%。現在より約200t減量する予定。観光客の入込にも影響はするが、各家庭へ減量化は協力してもらえよう努力していく。また、生ゴミ処理施設については今後の課題である。

**問** ステーション方式の設置数とその補助金については。

**答** みそら野、名鉄地区で5ヶ所、補助率は3/4。

**問** 今後、給食センターや図書館、観光復旧施設の建設などの事業があるが、今後の起債発行についての考えは。

**答** 3カ年の実施計画をたてて予算建てをしている。計画にあることは事実。一時的に起債額は多くなると予想される。将来の事業をシミュレーションする中で大きな負担とならないよう検討していく。今回増えた分は震災復興住宅建設が主なもの。

**問** 滞納整理機構へは7件申請し、2件分、1589万円の入金。平成29年度は前年度5件を含む19件を申請中。

**問** 固定資産税滞納繰越分が主なもの130件あり、全体では222件。

**問** 今後、給食センターや図書館、観光復旧施設の建設などの事業があるが、今後の起債発行についての考えは。

**答** 3カ年の実施計画をたてて予算建てをしている。計画にあることは事実。一時的に起債額は多くなると予想される。将来の事業をシミュレーションする中で大きな負担とならないよう検討していく。今回増えた分は震災復興住宅建設が主なもの。

**問** 県地方税滞納整理機構へ委託した案件の成果と状況は。

**答** 滞納整理機構へは7件申請し、2件分、1589万円の入金。平成29年度は前年度5件を含む19件を申請中。

**問** 不納欠損の主なものと件数は。

**答** 固定資産税滞納繰越分が主なもの130件あり、全体では222件。

**問** 今後、給食センターや図書館、観光復旧施設の建設などの事業があるが、今後の起債発行についての考えは。

**答** 3カ年の実施計画をたてて予算建てをしている。計画にあることは事実。一時的に起債額は多くなると予想される。将来の事業をシミュレーションする中で大きな負担とならないよう検討していく。今回増えた分は震災復興住宅建設が主なもの。

**問** デイサービス事業は黒字。確かにパート職に頼っているところはある。今後、安定した雇用につながるよう地域包括センター等と密接に連携して今年度中に対応したい。

**問** 保健補導員の役割は終わっている。名称変更しては。

**答** 時代の変化とともに名称、役割は変わってきている。今後、地区保健補導員と相談しながら検討したい。また、現実的に何もしない地区もあり、活動助成金是不公平感がないよう対応する。

**問** マイナンバーカードの交付率は。

**答** 本年3月末の人口を分母とすれば7.2%。

**問** 耕作放棄地の可視化を農政課

**答** 耕作放棄地の分かる地図を作成しているか。

**答** 地図は作成していない。GIS地図システムに入力して対応。

**意見** 平場については有休荒廃地化しないよう対策を講じてほしい旨の意見。

**問** 奈良井地区の管理については。

**答** 佐野・沢渡地区に事業完了の説明会を開催。地区住民より様々な意見を頂戴した。湿原保全と維持管理はしっかり対応する。

**問** 国・県の除雪支出金減額傾向

**建設課** 除雪費の国県支出金が減っている理由は。国県からの助成金は減額

**問** 庄屋丸八の家賃の年間60万円は月5万で、民間指定管理者はGCで、募集要項に基づいた金額であるが、根拠となる経緯は調査を行う。また、契約期間が5年間で今年度末に契約終了。本年秋季に募集要項を改め募集する予定。

**問** 3市村による自転車活用

**観光課** 自転車活用事業の充実を

**問** 道路橋梁の廃止された橋はどこか。

**答** 南俣にある3橋梁は村道ではないので廃止。反田(そりだ)橋は震災で壊れていて取り壊すため。



大北の小中学生による手造り旗が選手を歓迎！鮮やかな各県の旗も賑わいを後押しした、30年ぶり3回目の国体。アルペン競技ゴール付近(名木山)